MITSUBISHI CHEMICAL GROUP

MU Ionic Solutions

2025 年 6 月 30 日

リチウムイオン二次電池の高容量化技術「**MP1 Technology**」に関する特許ライセンスビジネスの強化について

三菱ケミカル株式会社
MU アイオニックソリューションズ株式会社

三菱ケミカル株式会社（本社：東京都千代田区、社長：筑本 学、以下「MCC」）の子会社である MU アイオニックソリューションズ株式会社（本社：東京都千代田区、社長：馬渡 謙一郎、以下「MUIS」）は、MUIS が保有するリチウムイオン二次電池（以下「LIB」）の高容量化技術である「MP1 Technology」（以下「本技術」）に関連する特許ライセンスビジネスを強化していくことをお知らせします。

近年、LIB は化石燃料消費の抑制や二酸化炭素の排出低減などの環境問題への解決策のみならず、次世代モビリティ社会の実現といった観点からも、電気自動車等（以下「xEV」）でのさらなる普及が見込まれています。また、デジタルトランスフォーメーションを進める上で不可欠なデータセンターにおける電力貯蔵システム（以下「ESS」）でも LIB 需要が高まってきています。

MUIS は、xEV 黎明期から正極材と電解液の界面作用に着目して研究を重ねてきた結果、本技術の核となるジフルオロリン酸塩による正極界面制御技術の開発に成功し、関連する多数の特許を保有しています。本技術は、正極/負極間のリチウムイオンのスムーズな移動をサポートし、特に低温時の出力特性、および繰り返し充放電に際しての容量維持特性を同時に向上させることができます。

これまで本技術は、MUIS の商流を通じて多くの xEV に採用されているほか、複数の電池メーカーに対し特許ライセンス供与を行った実績を有しています。xEV や ESS のさらなる普及に伴う需要に応えるために、今後 MUIS は本技術に関連する特許を世界中の LIB メーカーに対して、積極的にライセンス供与していきます。

MCC および MUIS は、LIB が車載用として採用される以前の民生用途としての開発初期から LIB 技術の研究開発を牽引しながら、特許取得にも積極的に取り組んできました。これからも知的財産権を戦略的に取得・活用することにより製品の安定供給に努めていくとともに、新たな技術開発で LIB の普及にあらゆる面から貢献してまいります。

■主なライセンス条件

許諾の形態	サブライセンス権のない非独占的実施許諾
許諾対象特許権	ジフルオロリン酸塩含有電解液による LIB 技術に関する、MUIS 保有の特許権
許諾行為	許諾対象特許権に係る LIB の製造、使用、譲渡、輸出又は輸入等の行為
許諾相手	国内外における LIB を製造販売するメーカー

MITSUBISHI CHEMICAL GROUP

MU Ionic Solutions

2025 年 6 月 30 日

■ライセンスに関するお問合せ先

ＭＵアイオニックソリューションズ株式会社　技術部　ライセンスチーム
e-mail：MCJP-DG-MUIS_HPCONTACT_TECH@mcgcgr.com
ホームページ：https://www.muis.co.jp/

お問合せ先
三菱ケミカル株式会社
総務・広報本部 メディアリレーション部
TEL：03-6748-7140